

令和 2 年度中学生チャレンジテスト

第 2 学年 国 語

注 意

- 1 調査問題は、1ページから27ページまであります。先生の合図があるまで、調査問題を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙⑥（国語）に記入してください。
- 3 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。
また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 8 調査時間は45分です。

問題は、次のページから始まります。

㊦ 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次は行書で書かれた【作品】です。【作品】に書かれている漢字を楷書かいしよでていねいに書きなさい。

【作品】



2 次の①～③の文中の——線部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きなさい。

- ① 二つの道路が交差する。
- ② 太平洋の沿岸は晴天にめぐまれた。
- ③ プレゼントにメッセージを添える。

3 次の①～③の文中の——線部のカタカナを文の内容に合うように漢字に直し、楷書でいねいに書きなさい。

- ① たまったゴミをスてる。
- ② 相手のツゴウを確かめる。
- ③ 地図のシュクシヤクを調べる。

4

次の文をほぼ同じ意味の文になるように書きかえるとき、
のを、あとのア〜エから一つ選びなさい。

——線部に当てはまる言葉として最も適しているも

この問題を解くことは簡単だ。

- ア 簡便だ
- イ 困難だ
- ウ 容易だ
- エ 単調だ

問題は、次のページに続きます。

【二】 谷村さんは、十一月末に職場体験学習でお世話になったスーパーの方々へ、お礼の手紙を書くことにしました。谷村さんが書いた次の【お礼の手紙の下書き】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【お礼の手紙の下書き】

拝啓

①

。スーパー〇〇西町店の皆様、その後いかがお過ごしでしょうか。

私は、青星中学校二年生の谷村です。先日は職場体験学習で二日間お世話になり、どうもありがとうございました。ありがとうございました。職場体験では、皆様がどのようなお仕事をしているかを知ることができました。また、売り場の清掃やレジのお手伝いなどを体験させていただいたおかげで、大切なことを学ぶことができました。

印象に残ったことは、どのお仕事の担当の方も、お客様へのあいさつを常に心がけていらっしゃったことです。それから、商品をとんでもないねいに取り扱われていたことです。さらには、いつも整理・整頓が行き届いていたことです。

今回の体験学習で学んだことを生かして、自分の将来やつきたい仕事について、しっかり見つめていきたいと思います。店長の山田様をはじめ、お世話になった皆様に、改めて深くお礼を申し上げます。

年末に向けてますますおいそがしくなると思いますが、お風邪かせなどひかれないよう、ご健康にはくれぐれもお気をつけください。

令和〇年十二月七日

青星中学校二年 谷村 のぞみ

スーパー〇〇 西町店の皆様

②

1 次のア～エのうち、【お礼の手紙の下書き】中の①に入れる時候のあいさつとして、最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 新春のお喜びを申しあげます
- イ 桜の開花の話題が届くようになりました
- ウ 秋風のさわやかな気候となりました
- エ 冬の日だまりがうれしい季節になりました

2 【お礼の手紙の下書き】 中の~~~~線部を前後の文脈に合わせて適切な敬語に直しなさい。

3 【お礼の手紙の下書き】 中の「はいけい拝啓」という書き出しの言葉に合うように ② に入れる結びの言葉を、次のア〜エから一つ選びなさい。

- ア 敬具 イ 草々 ウ 以上 エ 前略

4 【お礼の手紙の下書き】中の



に入る後付けの書き方として、最も適切なものを次のア～エから一つ選

びなさい。

ア

令和〇年十二月七日

青星中学校二年 谷村 のぞみ

スーパー〇〇 西町店の皆様 みなさま

イ

令和〇年十二月七日

青星中学校二年 谷村 のぞみ
スーパー〇〇 西町店の皆様

ウ

スーパー〇〇 西町店の皆様

青星中学校二年 谷村 のぞみ

令和〇年十二月七日

エ

令和〇年十二月七日

スーパー〇〇 西町店の皆様

青星中学校二年 谷村 のぞみ

5 谷村さんは、【お礼の手紙の下書き】中の の内容を推敲すいこうする際に、友だちの松山さんからアドバイスをもらい、あとの【書きかえた文章】のように直しました。松山さんは の前後の文を読み、どのようなアドバイスをしたと考えられますか。次の条件に従って書きなさい。

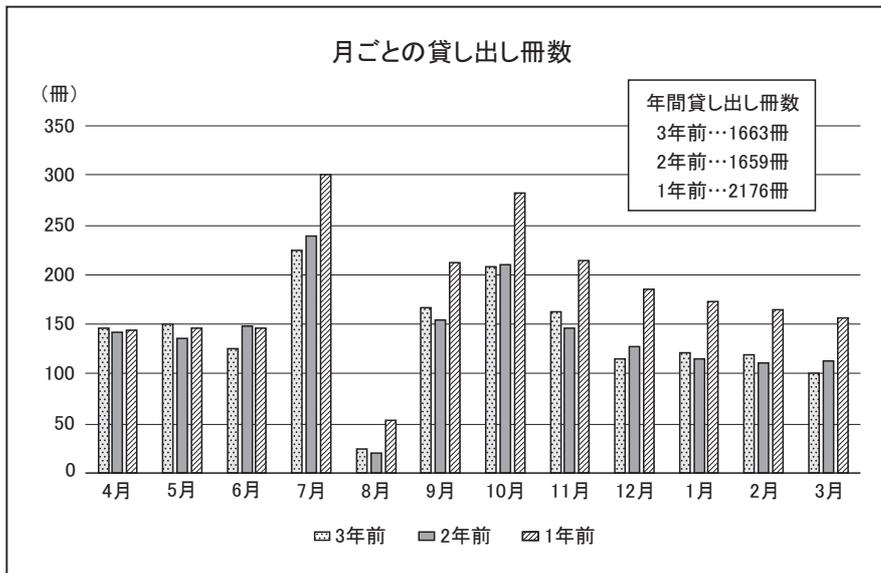
条件1 問題点を一つだけ指摘ししてきした上で、どのように改善をすればよいかを具体的に書くこと。

条件2 四十字以上、六十字以内で書くこと。

【書きかえた文章】

特に私が学んだのは笑顔であいさつすることの大切さです。どのお仕事の担当の方も、お客様へ自然な笑顔であいさつをなさっていて、気がつけば、私も笑顔であいさつをしていました。すると、お客様のほうから笑顔でお声をかけていただくこともあり、本当にうれしく感じました。笑顔のあいさつの大切さは職場体験がなければ気づけなかったことでした。私は、これからもすすんであいさつをしようと思っています。

問題は、次のページに続きます。



【資料】

③ ある四月の放課後、図書委員の役員である中村さんたちは【資料】の情報を見ながら、今年度の図書委員の活動についての案を話し合っています。次の【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの一部】

中村さん 来週の委員会の時間に今年度の図書委員の取り組みを決めます。その前にこの場でみなさんの意見を聞いて案を考え、来週の委員会の時間に提案したいと思います。よろしくお願ひします。

全 員 よろしくお願ひします。

中村さん それでは、今年度の取り組みを考える前に、昨年度の取り組みについて振り返ってみましょう。

赤木さん 昨年度は図書委員が生徒のみなさんにおすすめしたい本を選び「おすすめ本コーナー」として展示しましたね。貸し出し冊数は増えたような実感があるのですが、実際はどうだったのでしょうか。

中村さん こちらの過去三年の月ごとの貸し出し冊数を示す【資料】です。一緒に見て考えましょう。

小川さん この【資料】を見ると、過去三年の中で昨年度は最も貸し出し冊数が多かったことがわかりますね。

青野さん そうですね。また、月ごとの貸し出し冊数に注目すると、

赤木さん 確かに。「おすすめ本コーナー」は昨年七月から始めたので、その成果があったと考えてよいですね。

中村さん 私も、図書委員が本を選んだり、工夫して展示したりした成果だと思えます。それではこれらを参考に、今年度の取り組みをどうするかということについて考えましょう。

青野さん 昨年度の取り組みの成果が出ているので、昨年度以上に貸し出し冊数を増やしたいと思います。

小川さん 貸し出し冊数を増やしたいのは私も同じです。ただ、昨年度と同じことをしても同じ結果にしかならない

かもしれません。

赤木さん ① はい、私も同じ考えです。つまり、昨年度の取り組みに加え、さらに新しい工夫をして発展させることが必要ですね。

中村さん 貸し出し冊数を増やしたいという考えはみなさん一致していますね。それでは、貸し出し冊数を増やすた

めの取り組みを具体的に考えたいと思います。何か案はありますか。

青野さん

私から一つ案があります。昨年度、「おすすめ本コーナー」は毎月一日に二十冊の展示でした。最初の方は月末まで何冊か本が残っていることもありましたが、十月頃からは一週間もたないうちに「おすすめ本コーナー」の本が貸し出され、すっかり無くなっていました。これほど求められているのなら、おすすめ本を展示する機会を今より増やしてはどうかと考えたのです。そうすれば、より多くの生徒により多くの本を貸し出すことができます。

中村さん

青野さんはどれくらいの期間でどれくらいの冊数を展示するのがよいと考えていますか。

青野さん

② 昨年度は毎月二十冊の展示が一週間で無くなっていたので二週間で二十冊がよいと思います。

中村さん

赤木さんは青野さんの案についてどう思いますか。

赤木さん

私は本の展示数を増やすより、展示の内容を工夫する方がよいと思います。例えば、おすすめ本を読んだ生徒に呼びかけて、本の感想を小さな紙に書いてもらい、それらも一緒に展示すれば効果的だと思います。

中村さん

本の感想を展示した場合、どのような点が効果的だと考えますか。

赤木さん

他の生徒の感想を知ることが、これまで読んだことがなかった本を読みたいと思うのではないでしょうか。また、これまで読んだことがある本であったとしても、自分と違う感想があることに気づき、もう一度読み返そうという気持ちになるかもしれません。このようにすれば、生徒のみなさんの読書に対する興味をより深めることができますし、本の貸し出し冊数が増えるのではないかと思います。

中村さん

なるほど。小川さんは、青野さんと赤木さんの案を聞いてどのように思いましたか。

小川さん

青野さんの案も赤木さんの案も、どちらも長所と短所があるように思いました。一つに決めるのは難しいです。

中村さん

そうですね。それでは来週の委員会の時間に今年度の取り組みとして、青野さんと赤木さんの案について
図書委員のみなさんの意見をきいてみましょう。

1 【話し合いの一部】中の A に入る適切な言葉を、【資料】を参考に文脈に合わせて、十五字以上、三十五字以内で実際に話すように書きなさい。

2 【話し合いの一部】中の——線部①について説明したものとして最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 相手の考えを自分の言葉で言いかえ、内容について助言をしている。
- イ 相手の考えをふまえ、さらに詳しく聞きたいことを質問している。
- ウ 相手の考えに共感する意見を述べ、考えを補足している。
- エ 相手の考えにおける論理的な構成や展開を評価している。

3 【話し合いの一部】 中の——線部②には、事実と意見がふくまれています。意見の部分のはじめにあたる三字を

——線部②から抜き出しなさい。

4 【話し合いの一部】 中で中村さんが果たした役割として適していないものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 参加者に対して、何について話し合うかを最初の場面で確認している。
- イ 話の内容がわかりにくいときは、発言者に対して具体的な説明を求めている。
- ウ 話題に参加できるよう、意見を述べていない人に対して発言を促している。
- エ 話し合いの流れがそれたときに、話し合いの目的に^{もと}戻るように促している。

5 次は「おすすめ本コーナー」を発展させるための案について【話し合いの一部】中の内容を整理した【メモの一部】です。

【メモの一部】

長所	内容	
より多くの生徒がより多くの本をかりることができる。	展示する機会を今より増やす。	青野さんの案
生徒が <input data-bbox="655 1420 695 1946" type="text" value="I"/>	展示の内容を工夫する。	赤木さんの案

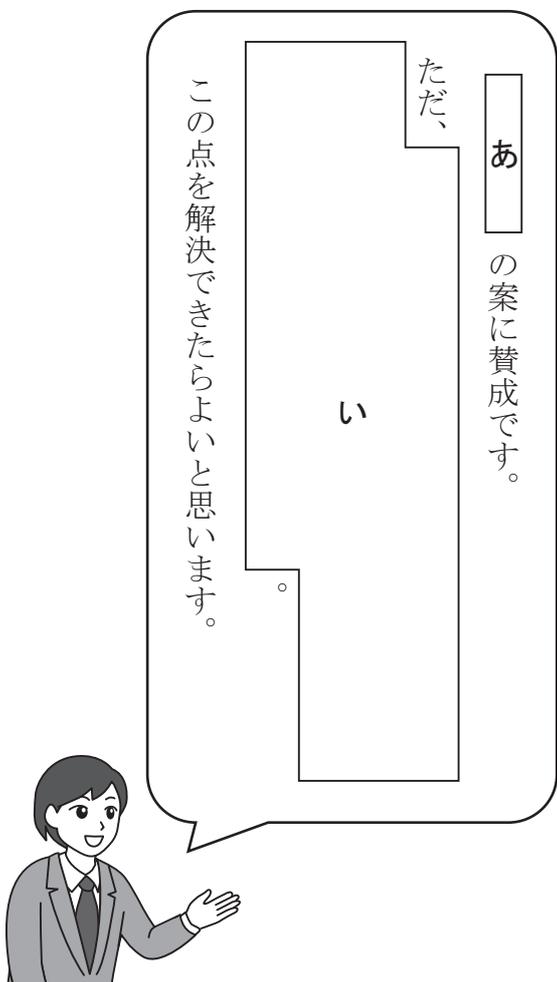
(1) あなたなら【メモの一部】をどのように書きますか。 I に入る適切な内容を、【話し合いの一部】

中の言葉を使って十五字以上、二十五字以内で書きなさい。

(2) 中村さんたちは、一週間後の委員会の時間に青野さんと赤木さんの案について図書委員のみなさんの意見をき

くことにしました。あなたが図書委員なら、青野さんと赤木さんのどちらの案に賛成しますか。 あ

に入るあなたが賛成する人の名前を ア 青野さん イ 赤木さん から一つ選びなさい。その上で、あなたが選んだ人の案の問題点を い に、話し言葉で三十字以上、五十字以内で書きなさい。



四

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(長谷川眞理子『情報過多と好奇心の行方』による)

1 本文中の 、 に入る言葉の組み合わせとして最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- | | | | |
|---|-----|---|------|
| | A | — | B |
| ア | さて | — | しかし |
| イ | だから | — | なぜなら |
| ウ | さて | — | なぜなら |
| エ | だから | — | しかし |

2 次の文は本文中の「ア」～「エ」のいずれかに入ります。入るところとして最も適しているものを、一つ選びなさい。

その違いの根底には、好奇心の持ち方、新奇性追求の精神の違いがあるだろう。

3 本文中の——線部①とありますが、ここでの「山」は、人類にとってどのような場所であると筆者は考えていますか。筆者の考えについて書かれた次の文中の に入る適切な言葉を、本文中から五字で抜き出し、文を完成させなさい。

「山」は、人類にとって、めざしたくなる のことであると筆者は考えている。

4 本文中の——線部②について、ここでの意味として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 物体と考えないで
- イ 物事にたとえないで
- ウ 問題と考えないで
- エ 課題にたとえないで

5 次のア～エのうち、本文に書かれている内容として最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア ホモ・エレクトスはながくアフリカにとどまっていたが、一〇万年ほど前に、世界中に拡散して南アメリカ大陸南端のカタゴニアまで到達した。
- イ ホモ・サピエンスの当時の暮らしは、狩猟採集生活だったため、住んでいたところが過密になってしまい、移住しなければ食べていけなくなった。
- ウ およそ六〇〇万年前にチンパンジーとヒトが分岐してから、その後、チンパンジーは科学を見いだすことはなかったが、人類は科学技術文明を築いた。
- エ 一五世紀は、探検と発見と征服の時代であり、南北アメリカはすでにヨーロッパ人によく知られていたが、好奇心の強い人々は乗り出していった。

6 次の文章は本文の内容の一部をまとめたものです。(A)、(B)、(C)に当てはまる言葉をそれぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、(A)は十三字、(B)は二十一字、(C)は二十三字で書くこと。

ヒトは好奇心や新奇性追求傾向を持っている。これにより人類は世界に拡散し、科学文明を築き、宇宙にまで進出するようになった。そして今、(A)とされ、情報過多、IT技術の急速な進歩、身近に手に取って見えるフロンティアの見えにくさの中で、私たちは生きている。

そのような中で、子どもたちに(B)であることをわからせることは難しく、身近な技術に対する子どもたちの好奇心を育くむのも難しい。

(C)とすることはヒトという種の将来を左右する重要な事柄である。

五

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(なお、設問の関係で古文中の「」の一部を省略しています。)

著作権者への配慮から掲載を控えております。

『十訓抄』より

1 本文中の 〰 線部を現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

2 本文中の 〰 線部の「の」と働きの同じものを、 〰 線部①～③から一つ選びなさい。

3 本文中の 〰 線部①から始まる会話文の終わりの部分がわかるよう、解答欄に「」を書き入れなさい。

4 本文中の——線部②の動作を行っている人物として、最も適しているものを次のア～エから一つ選びなさい。

ア 女房にようぼう

イ さるべき男

ウ 宿直人しどのいびと

エ 作者

5 次のア～エのうち、この話の内容に合うものとして最も適しているものを一つ選びなさい。

ア 困ったときの頼み事は、知識や地位のある人に頼んだほうがよい。

イ 見かけや地位だけで、人の知識や能力を決めつけてはいけない。

ウ 人にものを頼むときは、ていねいに分かりやすく内容を伝えないとはいけない。

エ 物を失くしたと思ったときには、自分の思い違いではないか十分に確認したほうがよい。